2026年11月５日

各　位

会 社 名　株 式 会 社 ナ ッ ク
代表取締役社長　川 上　裕 也
（コード番号 9788　東証プライム）
問合わせ先　経営管理本部長　安 藤　二 郎
（ＴＥＬ.０３-３３４６-２１１１）

2027年３月期 第２四半期（中間期）連結業績予想及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）累計期間の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正について

●2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	27,400	600	600	400	9.57
今回修正予想（Ｂ）	27,400	480	460	△65	－
増減額（Ｂ－Ａ）	－	△ 120	△ 140	△ 465	
増減率（％）	－	△ 20.0	△ 23.3	－	
［参考］前年同期実績（2025 年３月期第２四半期）	27,383	419	429	281	6.73

●2027年３月期第２四半期（中間期）個別業績予想数値の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	16,500	400	250	5.98
今回修正予想（Ｂ）	16,500	400	△65	－
増減額（Ｂ－Ａ）	－	－	△ 315	
増減率（％）	－	－	－	

２．業績予想修正の理由

（連結）

2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績における売上高は、前回公表予想と同額の27,400百万円、営業利益は同120百万円減少の480百万円、経常利益は同140百万円減少の460百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同465百万円減少し65百万円の損失となる見込みです。

主な要因として、建築コンサルティング事業において、補助金対象商品の販売比率が上昇したことに伴い、一部商品の売上計上時期が当初の想定より後ろ倒しとなりました。また、建築部資材の価格高騰や住宅ローン金利上昇を背景として、住宅市場を取り巻く環境は厳しさを増しております。これに伴い、当社の主要顧客である地場工務店の受注環境が悪化し事業環境が厳しさを増したことから、当社の受注環境にも影響が生じました。同事業は利益率が高いことから、これらの影響による売上高の減少が営業利益以下の各利益項目に大きく影響いたしました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、上記営業利益の減少に加え、事業ポートフォリオの見直しを行い、Yesmart 事業の撤退を決定いたしました。これに伴い、Yesmart 事業に係る固定資産等の減損損失を計上いたしました。

以上の要因により、各利益項目は前回公表予想を下回る見通しです。

（個別）

連結業績予想の修正理由に記載の減損損失を計上したため、中間純利益は前回公表予想を下回る見通しです。

なお、通期連結業績予想及び通期個別業績予想につきましては、レンタル事業・クリクラ事業において、年末商戦における販売拡大による売上高および利益の増加を見込んでおります。また、売上計上時期が後ろ倒しとなった補助金関連商品について、今後の採択状況などを踏まえ一部の売上計上を見込んでいることから、通期業績予想は前回公表予想から変更ございません。なお、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる場合がございます。

以　上